

その色の木は、これからも、村の希望だ。

一般社団法人 天川村フォレストパワー協議会 / 奈良県

「キハダ」は天川村に欠かせない木だ。幹の樹皮をはぐとあざやかな黄色の肌が見える。そして「陀羅尼助(だらにすけ)」と呼ばれる、地域伝統の和漢胃腸薬の原料になるという。しかし、村のキハダが減少し、他の地域から購入を余儀なくされている。



そこで、広大な伐採跡地にスギやヒノキではなくキハダの植樹を始める。他にもホオノキやクロモジなど、地域の特産品を支える木を植えるという。もともと全国有数の林業地帯。そんな村が多様な森の恵みとともに、林業と伝統文化を同時に活性化させる挑戦を始めた。



一般社団法人
農林水産業みらい基金

未来は、いつだって、現場から生まれる。私たち農林水産業みらい基金は、JA(農業協同組合)・JF(漁業協同組合)・JForest(森林組合)グループの一員である農林中央金庫によって設立されました。

詳しくは [農林水産業みらい基金](http://www.miraiikin.org/) 検索
<http://www.miraiikin.org/>

